

第18期(2023年3月期)決算説明会

2023年5月31日



アジアパイルホールディングス株式会社

目次

I 決算のポイント、主なトピックス	1
II マーケットの動向	7
III 決算概要(連結)	13
IV 経営概況	20

I 決算のポイント、主なトピックス

I-1 決算のポイント

➤ 2023年3月期 連結業績の概況

(%表示は対前期増減率)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
1,102億円 (+18.3%)	62.8億円 (+187.6%)	58.4億円 (+169.4%)	41.3億円 (+176.4%)

➤ 国内、海外の状況

(連結調整前、%表示は対前期増減率)

	売上高	セグメント利益
国内	898億円 (+17.6%)	55.9億円 (+253.0%)
海外	205億円 (+22.0%)	7.9億円 (+26.1%)

新工法の優位性を核に積極営業展開
施工・生産能力強化、施工管理業務効率化

採算・キャッシュフロー重視の事業活動
国内事業との連携強化

I-2 決算のポイント

➤ 国内部門別売上高

(%表示は対前期増減率)

コンクリートパイル	場所打ち	鋼管	その他(継手金具等)
710億円 (+26.3%)	103億円 (△16.3%)	53億円 (+4.7%)	29億円 (+12.3%)

I-3 主なトピックス

国内展開

新工法を中心に大型工事の受注増加傾向が続く

大径・高強度杭需要拡大から生産体制強化中

施工稼働力・杭生産能力最適化、施工管理の生産性向上

海外展開

ベトナム
PV社

採算重視の事業活動・国内事業連携強化

ミャンマー
VJP社

事業活動停滞中ながらも人材活躍支援着手

I-4 主なトピックス

国内展開

新工法を中心に大型工事の受注増加傾向が続く

➤ 受注高堅調に推移

2023/3末受注残:約400億円(前期末比+4.8%増) ※完工ベース

大径・高強度杭需要拡大から生産体制強化中

➤ 大径・高強度杭の生産能力増強投資

茨城工場設備投資(投資額26億円) 2023/8稼働予定

施工稼働力・杭生産能力最適化、施工管理の生産性向上

➤ 体制強化:施工稼働力・杭生産能力の効率的運営・工程平準化

➤ ICT活用:施工管理の生産性向上

I-5 主なトピックス

海外展開

ベトナム
PV社

採算重視の事業活動・国内事業連携強化

- 原材料価格高止まり、金融引締め等、厳しい事業環境が続く
- 採算・キャッシュフロー重視の受注活動に注力中
- 人的交流再開、国内事業との連携強化・施工技術向上取組中

ミャンマー
VJP社

事業活動停滞中ながらも人材活躍支援着手

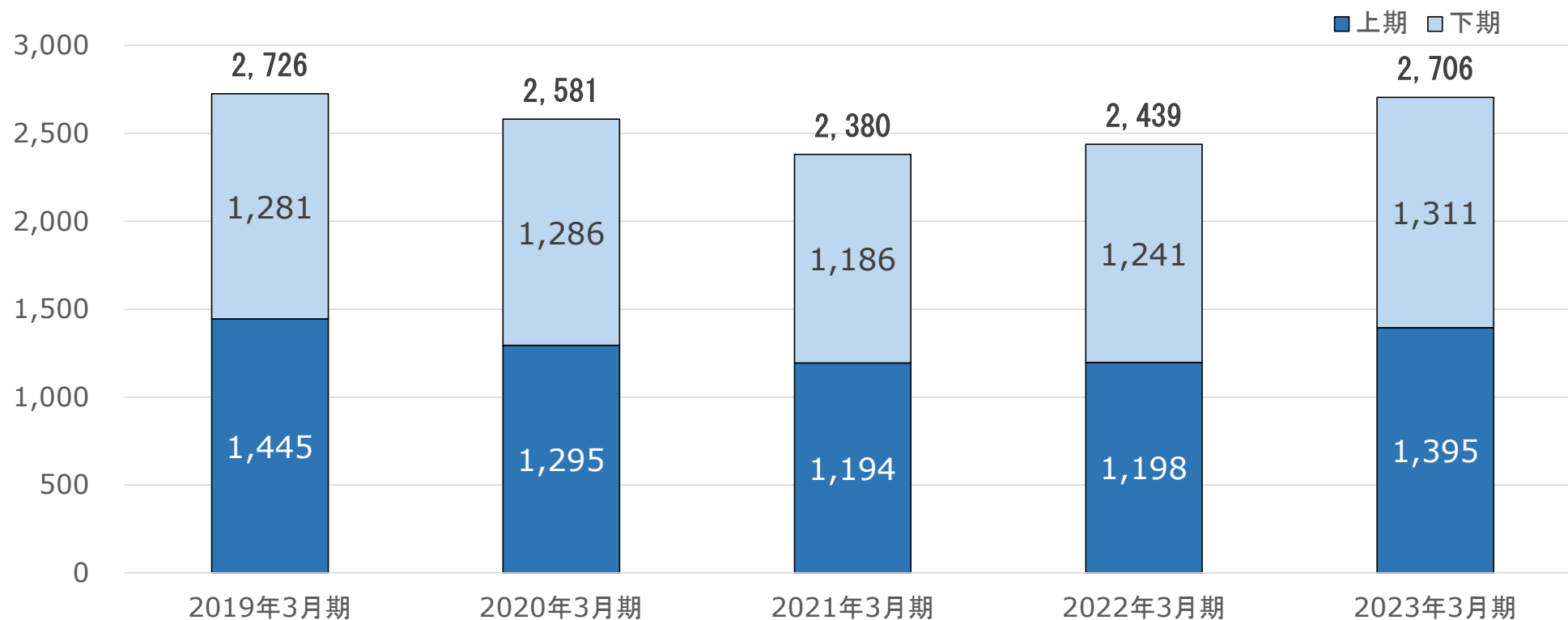
- 事業活動停滞: 事態推移注視の上、適切に対応の方針
- 国内女性管理職に海外人材配置/技術者・実習生の支援サポート

Ⅱ マーケットの動向

Ⅱ-1 全国コンクリートパイロ出荷量

(単位：千トン)

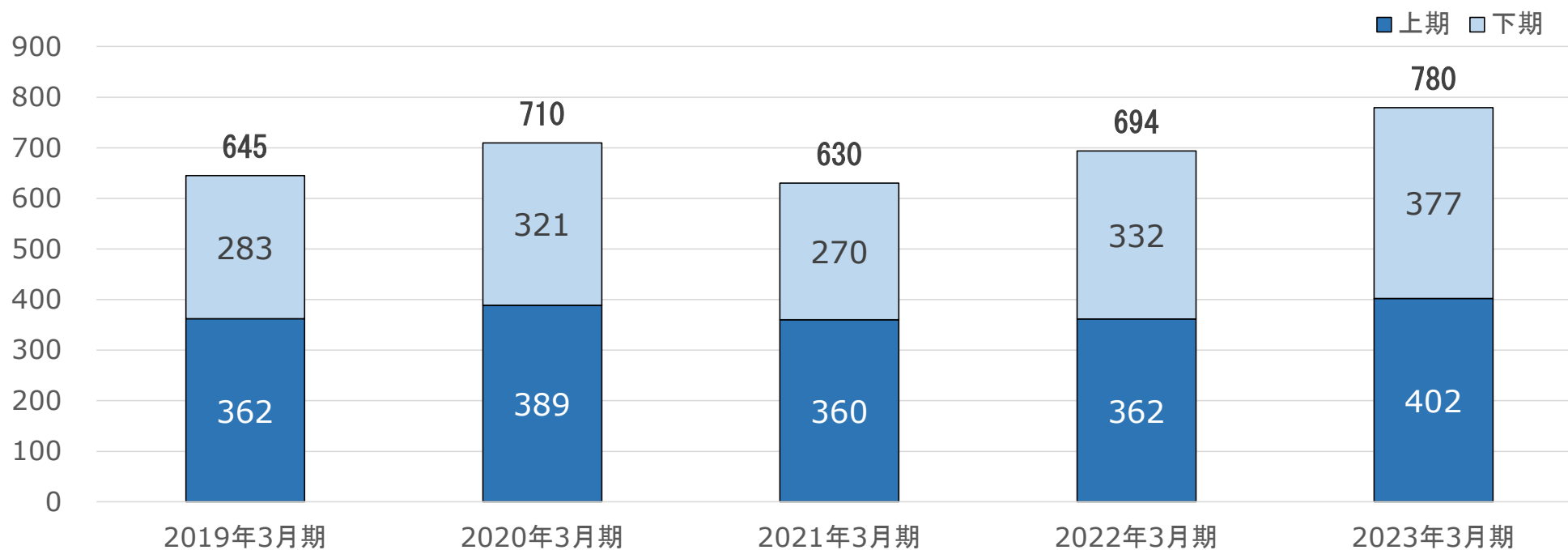
(出典)一般社団法人 コンクリートパイロ・ポール協会資料



➤2023年3月期は、前期比11.0%の増加

Ⅱ-2 当社グループのコンクリートパイプ完成量(国内)

(単位：千トン)



➤ 2023年3月期は、前期比12.3%の増加

Ⅱ-3 コンクリートパイルのシェア(国内)

(出典)一般社団法人 コンクリートパイル・ポール協会資料および当社社内資料

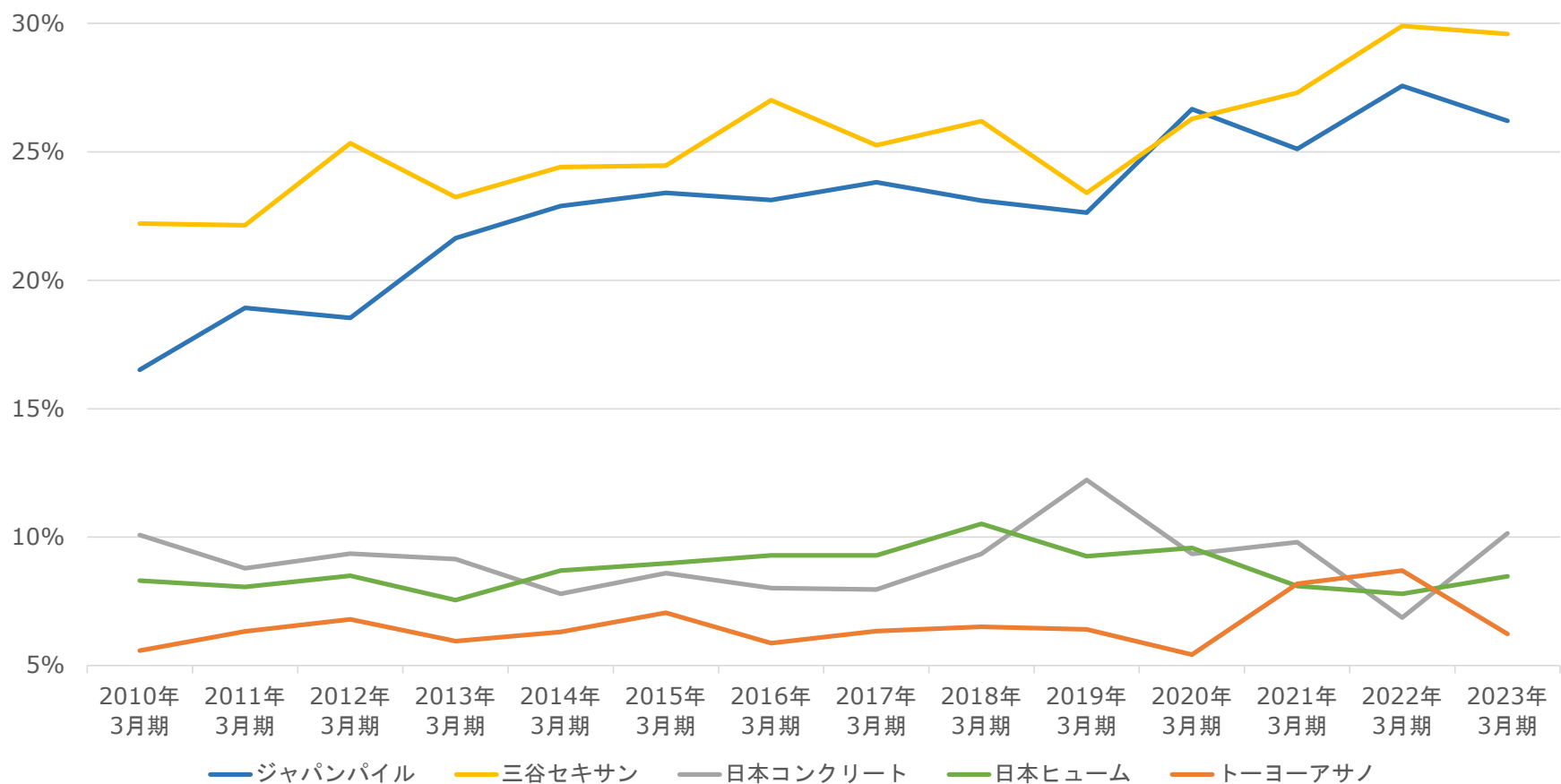
		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
当社グループ	完工量(千t)	645	710	630	694	780
	シェア	23.7%	27.5%	26.5%	28.5%	28.8%
	出荷量(千t)	617	688	598	672	709
	シェア	22.6%	26.7%	25.1%	27.6%	26.2%
三谷セキサン	出荷量(千t)	638	678	650	729	801
	シェア	23.4%	26.3%	27.3%	29.9%	29.6%
日本コンクリート工業	出荷量(千t)	333	241	233	167	275
	シェア	12.2%	9.3%	9.8%	6.9%	10.1%
日本ヒューム	出荷量(千t)	252	247	193	190	229
	シェア	9.3%	9.6%	8.1%	7.8%	8.5%
トーヨーアサノ	出荷量(千t)	175	140	195	212	169
	シェア	6.4%	5.4%	8.2%	8.7%	6.2%
その他	出荷量(千t)	711	586	512	468	524
	シェア	26.1%	22.7%	21.5%	19.2%	19.3%
業界全体	出荷量(千t)	2,725	2,581	2,380	2,439	2,706
	シェア	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Ⅱ-4 コンクリートパイルの出荷シェア推移(国内)



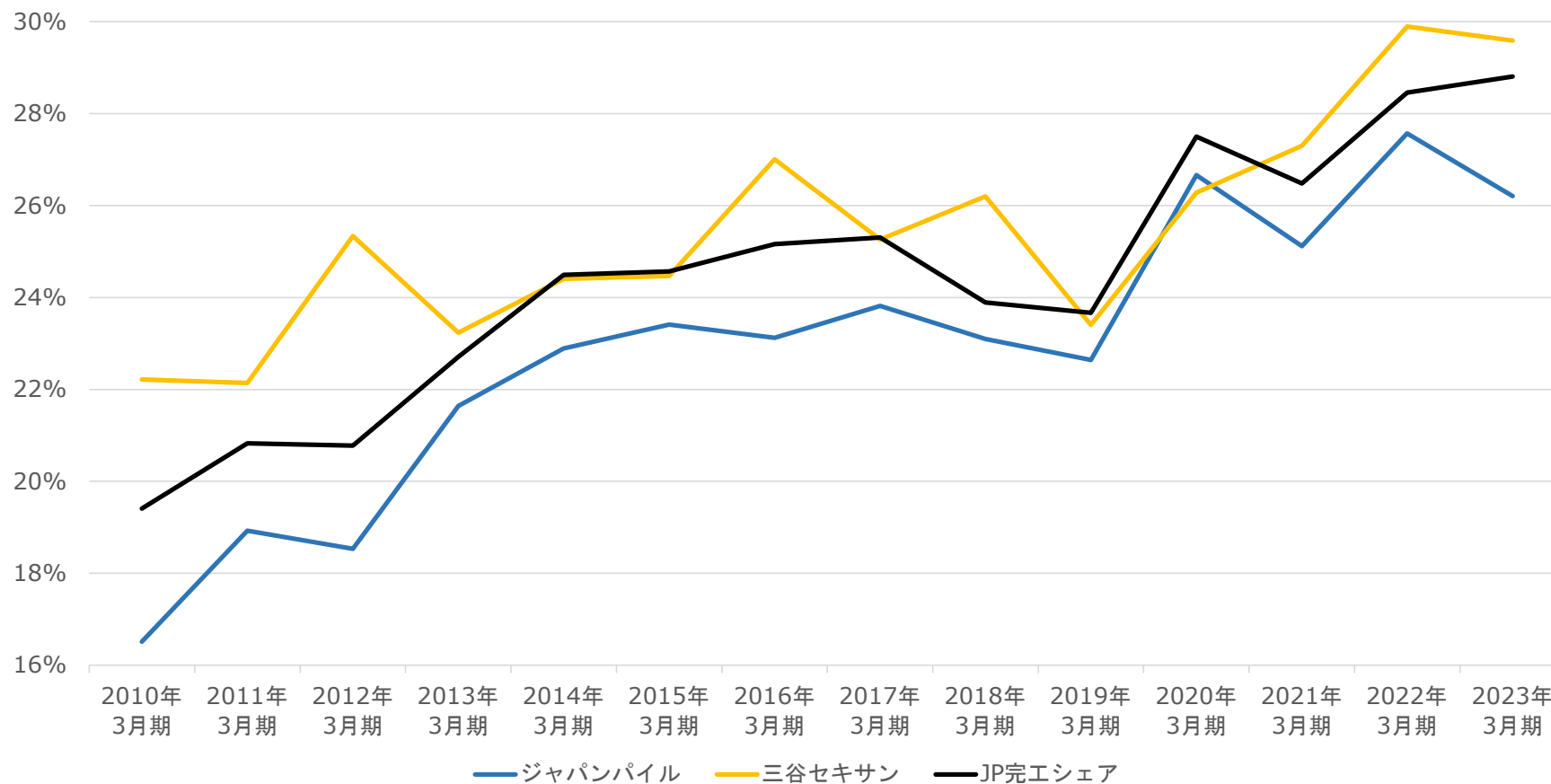
アジアパイルホールディングス株式会社

(出典)一般社団法人 コンクリートパイル・ポール協会資料および当社社内資料



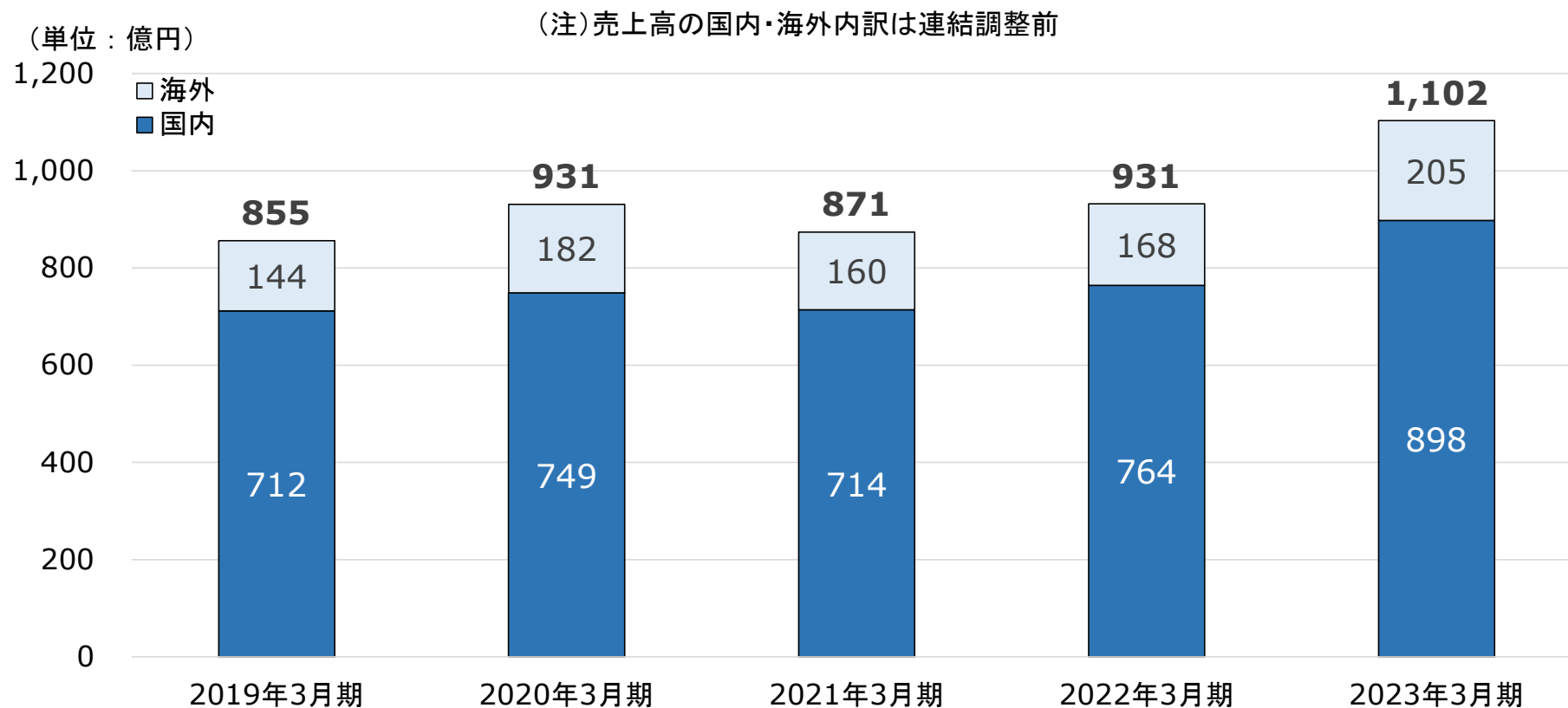
Ⅱ-5 コンクリートパイルのシェア推移(国内)

(出典)一般社団法人 コンクリートパイル・ポール協会資料および当社社内資料



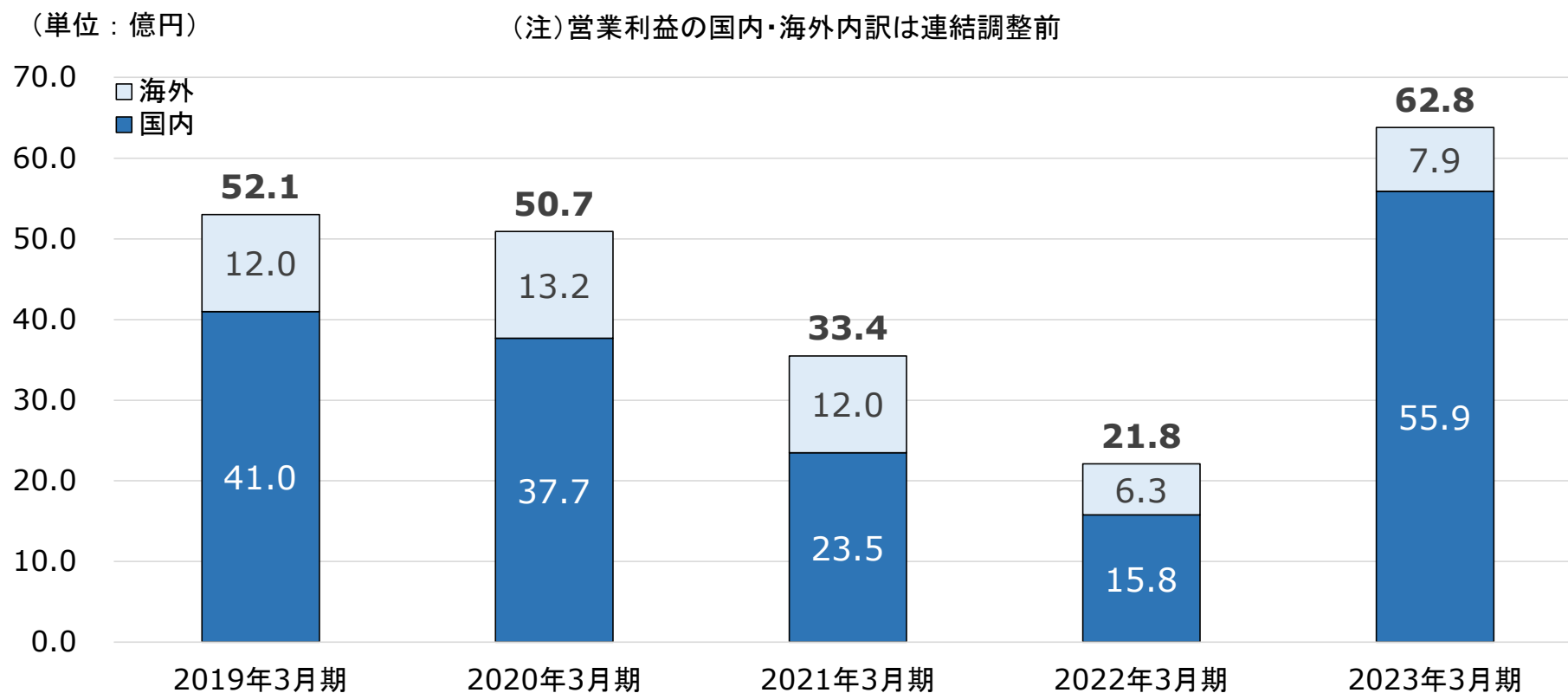
Ⅲ 決算概要(連結)

Ⅲ-1 売上高の推移



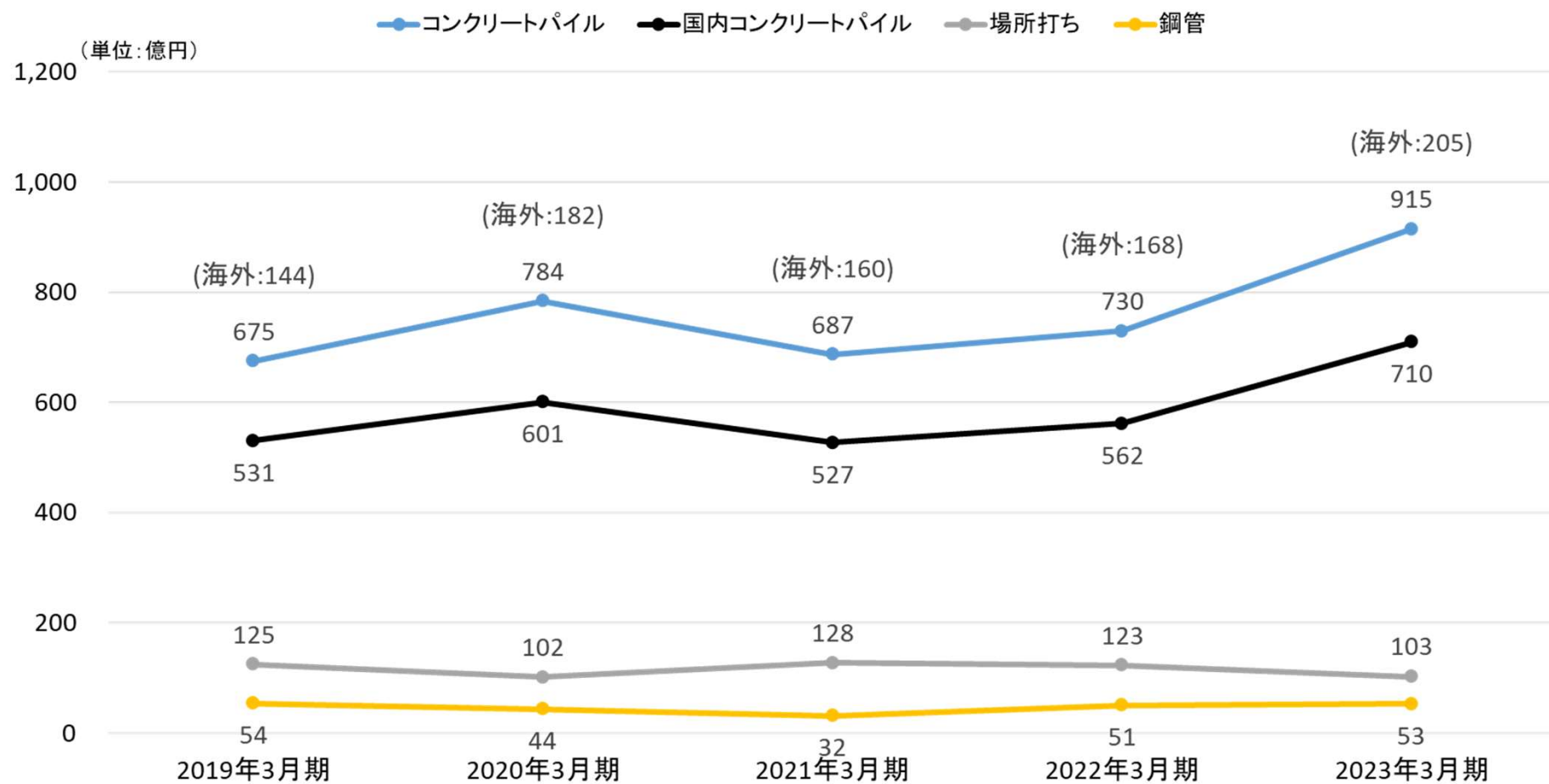
➤売上高が過去最高の1,000億円を突破

Ⅲ-2 営業利益の推移



➤大型案件が寄与し、過去最高益更新

Ⅲ-3 部門別売上高の推移



Ⅲ-4 損益計算書

(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)
売上高	85,566	93,175	87,192	93,176	110,245	105,000
売上総利益	13,593	13,860	12,328	11,394	16,556	—
営業利益	5,212	5,076	3,340	2,184	6,283	5,000
経常利益	4,847	4,596	3,081	2,169	5,844	4,500
親会社株主に帰属する当期純利益	3,164	2,712	2,437	1,494	4,130	3,000
売上高総利益率	15.9%	14.9%	14.1%	12.2%	15.0%	—
自己資本当期純利益率	10.5%	8.1%	6.9%	4.1%	10.5%	—

✓ 2023年3月期:過去最高売上・利益を更新

✓ 2024年3月期(予想):世界的な金融引締め等による経済減速、原材料価格高止まり・競争激化等の厳しい事業環境を踏まえた予想

Ⅲ-5 キャッシュ・フロー計算書

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
(単位:百万円)					
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,195	6,891	7,304	3,628	7,549
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,164	△ 2,549	△ 4,549	△ 2,660	△ 4,895
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,937	△ 3,636	△ 155	△ 1,131	2,948
IV. 現金及び現金同等物の期末残高	11,330	11,957	14,344	14,225	19,817

(注)財務CFIについて、協力会社への下請工事代金支払い慣行是正の一環として、資金調達を先行実施

(ご参考)5カ年計画 進捗状況

(単位:億円)	5カ年計画 2019年度 ~ 2023年度	(1年目)		(2年目)		(3年目)		(4年目)		(5年目)	
		2019年度 実績	進捗率	2020年度 実績	進捗率	2021年度 実績	進捗率	2022年度 実績	進捗率	2023年度 計画値	進捗率
売上高	1,100	931	85%	871	79%	931	85%	1,102	100%	1,050	95%
<国内>	800	749	94%	714	89%	764	96%	898	112%	900	113%
<海外>	300	182	61%	160	53%	168	56%	205	68%	150	50%
営業利益	65	50	77%	33	51%	21	32%	62	95%	50	77%

(注)売上高の国内・海外内訳実績は連結調整前

IV 経営概況

IV-1 経営概況

1. コンクリートパイル市場の構造

- (1) 高支持力工法主流の時代
- (2) 「高支持力工法」から高性能「高支持力工法」へ

2. 前期の当社戦略(新工法の普及拡大と環境変化への対応)

- (1) 新工法の進化と環境整備
- (2) 原材料価格への対応

IV-2 経営概況

3. 今年度方針

- (1) 大手顧客との取引深堀による大型工事獲得
- (2) 生産体制の確立と全社ベースでの効率化の推進
- (3) コンクリートパイル以外の杭種ビジネスの積極展開

IV-3 経営概況

4. 海外の現状

(1) ベトナム

(2) ミャンマー

5. 創業100周年を迎えて



アジアパイルホールディングス株式会社

Building the foundations of Asia

アジアの基礎をきずく。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、環境の変化等により、実際の結果と異なる可能性があることにご留意下さい。

また、本資料の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性については一切保証いたしません。